

田中 康嗣 (TANAKA koji)

上級研究員

〈直近の経歴〉

- 2017 農林水産研修所つくば館
- 2019 国土交通省国土政策局
- 2021 農林水産省農産局
- 2023 国土交通省不動産・建設経済局
- 2025 施設工学研究領域施設保全グループ



研究者の横顔

農林水産省から出向中の田中と申します。このような自己紹介文を書くのは苦手なのですが、指名ということですので、一筆書かせていただきます。

直近の経歴を見てもお解りだと思いますが、ここ8年間は農業工学職でありながら農村振興局関連の仕事をしていません。もっと言うと、農林水産省と国土交通省に所属している期間が同じとなっています。ということで、農業土木的な知見は浅いのですが、逆に言うと、様々な経験をさせてもらっており、多角的に広く物事を見ることができる視野が養われているのではないかと考えています。そんな中、今年4月に農工研に異動してきているので、正直、わからないことだらけでしんどい日々を送っています。まあ、そのうち慣れると思いますし、この経験も必ず役に立つと思っています。

さて、簡単な自己紹介ですが、“趣味”を聞かれると大抵“釣り”と“ドライブ”と答えています。実は“鉄道”に非常に興味があります。といっても、いわゆる撮り鉄や乗り鉄ではなく、車両についても一般的な知識は持ち合わせていますがそんなに好きなわけではなく（といっても、一般の方々と比較すればかなり興味はありますが…）、地域づくりに興味があることに関連して、鉄道が地域にもたらす影響をなんとなく考察することが好きです。また、鉄道は、地域経済を支える観点で非常に大きな役割を果たしています。農業分野でも、鉄道は北海道から本州への農産物の輸送を一定程度担っています。北海道の農業生産には必要不可欠な存在といえます。今後、北海道新幹線が札幌まで延伸した際に、貨物輸送で大きな役割を担っている並行在来線の取り扱いがどうなるのか、気になるところです。

農工研においては、パイプラインの研究に取り組むこととなっています。鉄道もパイプラインも何かものを送り届ける線物のインフラという部分では共通していると思うので、自分のできることから前向きに取り組んでいきたいと思っています。